

正念寺だより

真宗大谷派 正念寺門徒会発行 近江八幡市末広町
〒523-0005 TEL0748-37-7716 FAX 0748-37-8011

二月十四日(日)

午後2時より

定例法要



浄土真宗の「行」は、もちろん念仏行、念仏申すこと
もう一つの行は、聞法行、仏の教えを聞くこと
お法を聞いて聞いて聞ききること。

ご和讃に学ぶ (4)



みだじょうぶつ
弥陀成仏のこのかたは、いまに十劫をへたまえり
ほうしん こうりん
法身の光輪きわもなく、世の盲冥をてらすなり

「私が救われていないのにどうして仏とられたの？」と
いいたくなります。◆曇鸞さまは、「火槌の喩え」でお示し
下さいました。…火槌とは、木でできた火鉢のひっかき棒
のことです。火が消えないように火を一生懸命ひっかいて
いる間に、炭火よりも先にひっかき棒のほうで燃え尽きま
した、と。◆「燎原の火」ということばがあります。野焼
きをするのに最初に火をつけたところはとつくに燃え尽
きたのに、その火が次から次へと野原に飛び火し広がって
いくことをいいます。…アフガニスタンの農業を盛んにす
るため、何本もの用水路を掘られた中村哲医師は、先年、
テロリストに殺されて今はおられません。でも、今も日本
では中村先生に続けと、ますますアフガニスタンへの支援
活動が続いています。◆法蔵菩薩の志は霊的力となって、
無量寿仏(阿弥陀仏)という普遍不滅の命のはたらきとなっ
て今も私たちを導いて、決して消えることはありません。